イベント報告

芦澤・細淵、微地形を制す

インカレミドル種目　2012 年 3 月 10 日 滋賀県竜王町

木村佳司

予想以上の微地形。想像以上の地図。そんな難テレインを素晴らしいパフォーマンスで学生たちが駆け抜けた。

2012 年 3 月 10 日（土）滋賀県竜王町
日本学生オリエンテーリング選手権大会

優勝に向かって走る細淵晃平（一橋大学）

男子選手権結果

1	細淵晃平	一橋大学	2	0:36:06
2	結城克哉	東京大学	3	0:36:18
3	平野弘幸	東北大学	2	0:36:58
4	伴 毅	京都大学	4	0:37:27
5	太田瑛佑	早稲田大学	4	0:38:09
6	北 翔太	金沢大学	3	0:38:27

女子選手権結果

1	芦澤咲子	相模女子	3	0:31:54
2	高橋美誉	岩手	2	0:32:49
3	星野智子	津田塾	4	0:35:36
4	稲毛日菜子	お茶の水	1	0:35:53
5	佐野まどか	東北	4	0:38:48
6	小玉千晴	椙山女学園	4	0:39:37

一橋大学初のインカレ優勝

一橋大学 2 年の細淵が男子のインカレミドル種目を制した。一橋大学がインカレを制したのは初めてである。

1992 年に行われた第 14 回インカレの個人戦（ロング種目）で当時大学 4 年生だった国沢五月が 2 位に入ったのが今までの最高順位だった。

２位はインカレロングの優勝者の東京大学 3 年・結城克哉。3 位は東北大学 2 年の平野弘幸だった。

芦澤・予告優勝

女子は相模女子大学の芦澤が、前日の優勝宣言通りの優勝を飾った。インカレロング優勝者の高橋美誉（岩手 2 年）は 2 位に、星野（津田塾 4 年）は 3 位となった。星野は今までの競技会では素晴らしい力を発揮してきたが、インカレでは最後まで優勝には手が届かなかった。4 位に入った稲毛はまだ 1 年生。リレーでもお茶の水女子大学を 2 位に引き上げた走りを見せており、これからの大注目株である。

ハイパフォーマンスな戦い

距離 2.8km、ウイニング予想 40 分の男子ミドルコース。それだけ遅い「がまんのレース」が予想されたが結果はこれよりも 10%速い展開となった。

また女子は予想を 20%以上上回るハイペースでの優勝タイムとなった。

学生の本気モードのスイッチが入った時、運営者の予想を超えるハイパフォーマンスが出てきたのだ。

次世代につなぐ地図

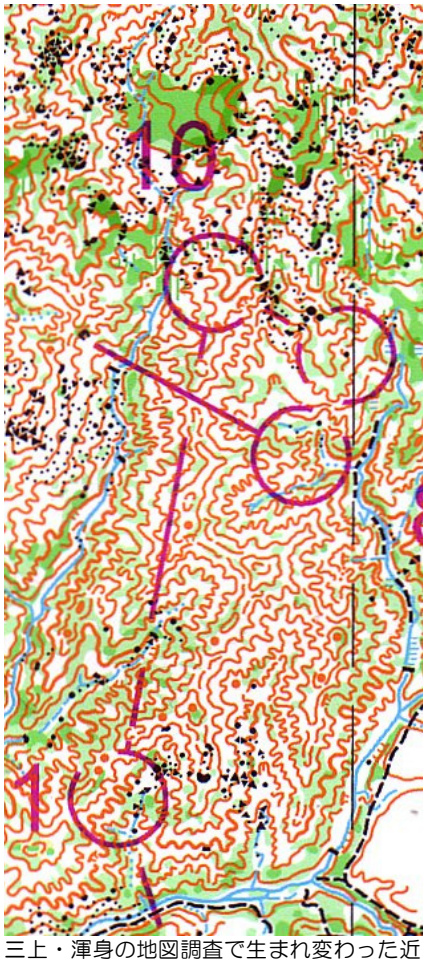
今回競技が行われた近江希望が丘のテレインは微地形が多い場所として有名だった。そんな微地形テレイン、やぶがちなテレインを、競技性の高いテレインとして使用するために、地図は精密に作られた。

この地図を作成するために、メインマッパーの三上は 200 日以上の調査をこのテレインに費やしたという。さらにはプロマッパーの山川や今回の実行委員長の西村も地図調査に投入された。

そうして完成した地図「青年の城 2012」の精密さと競技性の高さは想像を絶する。

この地図調査を通じて、三上がプロマッパーとして独り立ちし、次いで西村もこの春からプロマッパーになると言う。オリエンテーリング競技においてなくてはならない地図を作る人材がこのインカレ用の地図から羽ばたこうとしている。そういった意味でもこのインカレは未来に向けての一歩となったのだ。

（木村佳司）



三上・渾身の地図調査で生まれ変わった近江希望が丘のテレイン。どの程度の地形を取捨選択するのかを悩んだ結果出来上がった地図がコレ！ 等高線の間に潜む気合が読めるようだ。